

日本図書館協会資料保存委員会

2020年7月6日

2021年3月1日改訂

## 図書館資料の取り扱い（新型コロナウイルス感染防止対策）について 一人と資料を守るために

図書館資料を介した新型コロナウイルス感染を防ぐ対策について、日本図書館協会資料保存委員会の現時点での考え方を以下のとおりまとめました。各館で今後の対応を検討する際の参考にしてください。

資料を介した新型コロナウイルス感染を防ぐ最も効果的な対策は、資料利用前後の手洗い・手指の消毒と、利用された資料の一定時間の隔離だと考えます。

### 【手洗い・手指の消毒】

利用の前の手洗いや消毒は、もし自分がウイルスを持っていた場合に資料にウイルスが付着させないためであり、利用の後の手洗いや消毒は、もし資料にウイルスが付着していた場合に自分に付いたウイルスを除去するためです。また、資料利用中にはマスクを着用して、手指で顔を触らないようにすることも有効です。

### 【一定時間の隔離】

#### ●隔離によってウイルスを不活性化させる

ウイルスは時間経過によって不活性化します。どのような物質に付着しているかによってウイルスの残存時間は違ってきますが、不活性化の時間に関する研究結果や見解は世界各国の機関から出されています。米国立アレルギー感染症研究所の実験結果によると、ウイルスが不活性になるまでの時間は、紙の上では 24 時間、プラスチックでは 72 時間です（※1）。この結果を参考にしている機関は多く、また、WHO の見解を受けて、日本の厚生労働省も同じ数字を示しています（※2）。その他の現時点での研究結果や見解をみると、隔離時間は 24 時間から 72 時間というのが妥当と思われます。一方、イギリスの科学雑誌「Nature」（2021.1.29）が「接触感染はまれ」という論説で紹介する論文（イギリスの医学雑誌「The Lancet Infectious Diseases」掲載）では、ウイルスが失活するまでの時間につ

いて、多くは研究室で大量のウイルスを用いて実験された結果であって、現実的には1~6時間と述べています(※3)。

利用後の資料を一定時間「隔離」することは、時間の経過を待つだけなので安全であり、資料に与える影響もありません。保管場所さえあればコストも発生しませんので、非常に現実的で効果的な方法です。

しかし、利用の多い資料で、その隔離の「時間」が待てないような場合は、資料の利用前後の手洗い・手指の消毒を徹底することがより重要になります。

### 【資料の消毒について】

消毒については以下のような方法もありますが、それぞれ注意が必要です。

#### ●消毒液によって消毒する方法

表面がプラスチックのもの(フィルムカバーをした本やディスクケースなど)は消毒液を用いて清拭しても問題ないものが多いです。

しかし、紙自体を消毒液で消毒することは、次の理由から推奨されていません。

- ・消毒液が紙に悪影響を与える可能性があります。
- ・消毒液に含まれる水分が、紙の変形を引き起こす可能性があります。
- ・製本された資料の紙を1枚ずつ消毒することは非現実的です。

また、製本クロスや革の表紙、カラー印刷された塗工紙等に消毒液を塗布すると、変質したり退色したりする可能性があります。

#### ●紫外線照射による方法

紫外線は一般的に細菌やウイルスに対して殺菌、不活性化の効果があるとされており、新型コロナウイルスについても、一定の波長と照射量での効果が確認される報告がさまざま出てきています。しかし、各国の関係機関の見解では図書館資料への紫外線照射は推奨されておらず、むしろ否定的です。その理由は次のとおりです。

- ・紙の劣化等の悪影響があります。もともと紫外線は紙にとって大敵です。
- ・資料の表紙だけでなく、本文全ページの内側に紫外線を照射し、ウイルスを完全に不活性化させるのは困難です。「紫外線殺菌照射による殺菌は、一般的に1cm<sup>2</sup>あたり2~5ミリジュールの暴露で効果が出るが、完全な暴露でなければ効果的ではなく、製本された本での達成はほぼ不可能」という指摘(※4)もあります。

まず図書館職員が、有効性があいまいな消毒方法を資料に用いることによって、資料に悪影響を与えてしまう危険性を理解しましょう。そして、人にも資料にも安全で効果的な対策を講じましょう。利用者にも基本的な対策方法を周知することが大切です。ポスターなどで「資料の利用前後の手洗い・手指の消毒」を呼びかけ、環境を整備しましょう(※5)。

※1 van Doremalen, Neeltje, [...et al.] “Aerosol and Surface Stability of SARS-CoV-2 as Compared with SARS-CoV-1.” *New England Journal of Medicine*, vol. 382, no. 16, 2020.3.17, p. 1564-1567.

<https://www.nejm.org/doi/full/10.1056/nejmc2004973> (電子版 2020.4.16)

※2 厚生労働省「新型コロナウイルスに関する Q&A (一般の方向け) 令和 3 年 2 月 6 日時点版「問 3 新型コロナウイルス感染症にはどのように感染しますか。」

[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou\\_iryuu/dengue\\_fever\\_qa\\_00001.html#Q2-2](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/dengue_fever_qa_00001.html#Q2-2)

※3 Goldman, Emanuel “Exaggerated risk of transmission of COVID-19 by fomites”, *Lancet Infectious Diseases*. Vol. 20, no. 8, 2020.8.1, p. 892–893.

[https://www.thelancet.com/journals/laninf/article/PIIS1473-3099\(20\)30561-2/](https://www.thelancet.com/journals/laninf/article/PIIS1473-3099(20)30561-2/)

※4 Ewen, Lara. “How to Sanitize Collections in a Pandemic: Conservators weigh in on the mysteries of materials handling during COVID-19”, *American Libraries*, 2020 年 6 月 1 日付ブログ記事 (翻訳: 資料保存委員会)

<https://americanlibrariesmagazine.org/2020/06/01/how-to-sanitize-collections-in-a-pandemic/>

※5 たとえば次のような事例

・埼玉県立図書館「手を洗おう」ポスター

<https://www.lib.pref.saitama.jp/information/2020/06/news-20200618-hozontearai.html>

・浦安市立図書館「新型コロナウイルス感染防止のお願い」

<http://library.city.urayasu.chiba.jp/news/news/koronasiryo.pdf>

(URL の参照日は 2021 年 2 月 23 日)